

# コロナウイルスに対するユニバーサル予防薬の開発を目指して

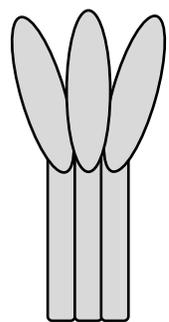
ウイルス感染部門 特任教授 河岡義裕

## 背景

今回パンデミックを引き起こした新型コロナウイルスSARS-CoV-2以外のコロナウイルスに対する予防法の確立は公衆衛生上重要である。

➡ 未来のパンデミックを想定しあらゆるコロナウイルスに効果を発揮する**ユニバーサル予防薬の開発**が必要！

## 戦略



スパイク蛋白質

	ヒトへの感染における主な役割	異なるウイルス間での保存性
<b>S1</b>	受容体との結合	<b>低い</b>
<b>S2</b>	ウイルスと細胞の融合	<b>高い</b>

「**コロナウイルスの感染に重要**」かつ「**進化上保存性が高い**」**スパイク蛋白質S2部位**を標的にしたワクチンや抗体の開発

## 実施する実験

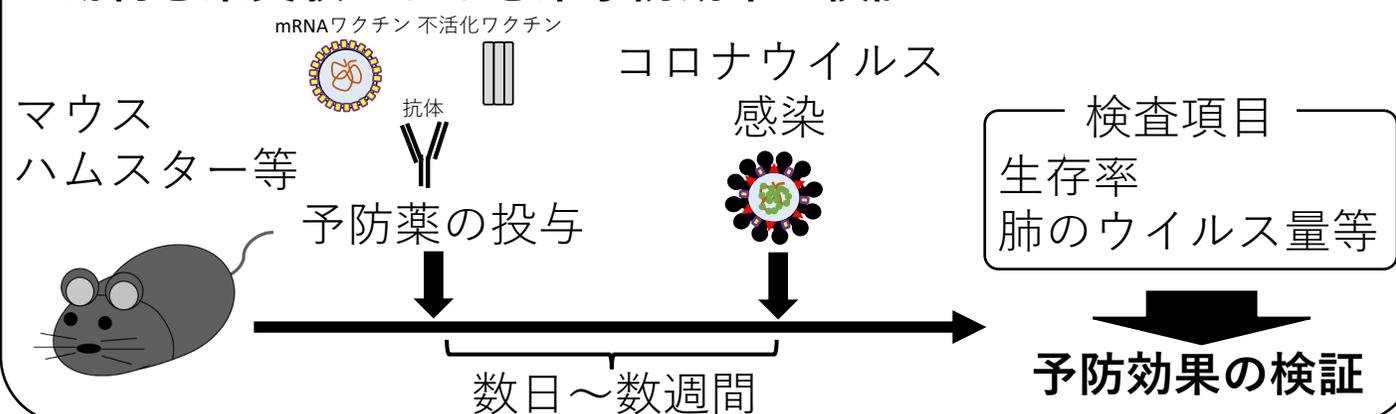
### 1. 予防薬作製

- ・ S2を標的としたワクチン
- ・ S2に対する抗体

mRNAワクチン 不活化ワクチン



### 2. 動物感染実験による感染予防効果の検証



## 期待される成果

未来のコロナウイルスによるパンデミック発生後、**100日以内での予防薬(ワクチンや抗体療法)を提供する**